## 元戦車中隊長の模型部屋 第11回

皆さんこんにちは!ーヶ月ほど仕事で新潟を離れていたため模型部屋の更新もできませんでしたが、やっと娘達の待つ家に帰ることができました。出張で感じたのはプラモと娘達との何気ない時間がないと一日が充実しないということです。プラモも子育ても楽しいですよね。

さて、今回は昭和時代の自衛隊車両を作りました。16式機動戦闘車や10式 戦車のように新装備品もカッコイイのですが、オリーブドラブ単色で塗られてい たこの時代の車両も私は結構好きです。で、今回は・・・・



キットは田宮模型さんのものです。そのまま素組でも十分に楽しめる素晴らしい キットです。組み立て自体は週末を使えば直ぐに出来てしまいます。じっくりと長 い時間をかけて組み立てるのも良いですが、すぐ形になるキットも良いですよね。 で、このキットは自衛隊仕様では発売されていません。過去の写真資料を調べて再 現したものです。

M8装甲車は米国製で陸上自衛隊に供与されていましたが、その数は少なく2両程度だったそうです。偵察警戒用として第1師団管内の部隊で使用されていたそうです。しかし、2両とは・・・レアな装備品です。



自衛隊で使用されていた写真がたったの一枚しかなく、それを参考にマークや 車番を他の自衛隊キットのデカールから流用しました。もしかしたら誤りがある かもしれませんが、それを証明する資料もないから開き直って作りました。



塗装は昭和自衛隊のオリーブドラブに近いイメージのGSIクレオスのブラウンバイオレットを使用し、サクラマット水彩マルチ絵具を食器洗剤を数滴水で溶いたものを流し込んでスミ入れしてます。



車内は塗装下地に使用するホワイトサフェイサーをそのまま使用し、スミ入れして底板に泥汚れを施し・・・ってやっても見えない悲しさ(笑)オープントップな車両なので、粉塵や泥で車内はかなり汚れていたのではないかと思います。



左:12.7ミリ重機関銃はつや消し黒で塗装して、鉛筆の粉やメタルカラーの

ダークアイアンを擦りつけて金属感を表現

右:パステルコンテの茶色を粉にして、所々にサビを表現しました。





足回りはタミヤウェザリングスティックを使用し、ブラシで擦りつけては濡れ綿棒で拭き取るという工程を繰り返し、風雨で流れ落ちた表現を施しました。 あまり汚しすぎると娘達に汚い!と言われてしまうので、ほどほどに(笑)





正面から見た装甲車、前照灯のレンズ部をドリルでくり抜き、WAVE社の H・アイズのクリアレンズをはめ込みました。ちょっとしたことですが、銀色 で塗るよりはるかにリアルになります





側面から見たM8装甲車 形は当然アメリカっぽいのですが、日の丸が付くだけでカッコイイ自衛隊車両になります(笑) 昭和のゴジラ映画に出てきそうです。





また見てくださいも!